



12月

『つむぎ子ども教室』・『つむぎ子ども教室Ⅱ』 ～児童発達支援～

あっという間に『師走』の忙しさとなり、カレンダーが最後の一枚になりました。2025年はどの様な年だったでしょうか？やり残したことがあるならば、まだ間に合います！毎日の小さな日常の積み重ねが、やがて大きな力になります。まずは子どもと向かい合い、にっこり笑顔で笑い合うことから一日を始めてみましょう！そして楽しく身体を動かしてみましょう。『動きが形を作り、動きと形が能力を作ります。だから継続は力になります』（故：河添邦俊先生 発案）急に寒くなったり乾燥したりと天候の不安定さも相まって、感染症が拡大しております。どうぞ体調を崩さず、元気にお過ごしくださいね。

今年もつむぎ子ども教室・Ⅱの活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。
来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(w)

12月		今月の目標：生活リズムを整えて、寒さに負けない身体づくりをしよう！				
月		火	水	木	金	土
1日 ボール遊び 手先遊び	2日 感触遊び 紙遊び	3日 制作 新聞遊び	4日 色遊び ゆさぶり遊び	5日 ジャンケン遊び 手先遊び	6日	
8日 スタンプ遊び ごっこ遊び	9日 宝さがし かくれんぼ	10日 ボール遊び タオル遊び	11日 迷路遊び 絵の具遊び	12日 制作 積み木遊び	13日	
15日 ゆさぶり遊び 風船遊び	16日 ごっこ遊び 紐遊び	17日 認識遊び 音遊び	18日 サーキット 感触遊び	19日 オニ遊び 風船遊び	20日 クリスマス会	
22日 折り紙遊び ボール遊び	23日 サーキット 色遊び	24日 フープ遊び 感触遊び	25日 そり遊び そり遊び	26日 作って遊ぼう ごっこ遊び	27日	
29日	30日	31日				
年末年始休み（～1/4迄）						



～12月・1月の予定～

★12月20(土) 『クリスマス会』(親子イベント)

場所)なかまの杜4階ホール

開場)9:45 開始)10:00 終了予定)11:30

★1月22(木) 保護者学習会

「大人になっても楽しむために～子育て体験談より～」

講師)ひびき保育園元園長 遠藤明子先生

(現在 つむぎ虐待防止委員会/第三者委員会)

場所)なかまの杜4階放ディ 時間)9:15～10:30

*12/27(土)～1/4(日)は年末年始休業休になります。

尚、休業中の緊急時にはご連絡をお願い致します

・南浅間教室(マック) TEL070-2823-3860

・なかまの杜教室 TEL070-2833-9030

・ともだち山教室 TEL070-1507-1964

・児発本部 TEL070-2827-5975



◆3つの首を温めよう

「風邪は首からひく」という言葉があり首、手首、足首が冷えると体全体が冷え風邪をひきやすくなります。厚手の物を1枚着るより素材の異なる薄手の物を2枚重ねる方が空気の層ができ温かくなり、室温に合わせ脱ぎ着もしやすいです。野外ではジャンパーなどの袖口はピタッとしている服、マフラー、手袋、レックウォーマーなどの着用でしっかりと保温し血流を促しましょう。血流がよくなると免疫細胞が体内の隅々まで行き渡りやすくなり、病原体や異物に対する防御機能が強化されます。一方で熱が上がった時はこの3か所を冷やすと熱が下がりますよ。（看護師 H）

～認識力を高めよう～

愛着形成と見る力の大切さ

・機嫌が良い時に向かい合ってあやされたり笑い合ったりしながら、十分に遊びを経験していくことで、相手と視線を合わせ、目で物を見つめ、動くものを目で追う力等が育ちます。やりとりを楽しみながら愛着形成も育んでいきましょう ❤

模倣力から認識力へ

・障害がある子ども達は、脳の働きの弱さからなかなか目が合いづらかったり、情報処理の苦手さを持ち合わせてたりすることが多いです。それでも大人が根気強く笑顔で向かい合って遊ぶことで、次第に視線が合うようになり、声をあげて笑い合い、やがて真似を楽しむようになります。いっぱい真似をすることで模倣力が高まり、認識力へと繋がっていきます。

・子どもが「もういっかい」「たのしい」「やってみたい」と思えるように、大人も楽しく遊ぶことがポイントです。

・「生体の生活リズム」を整え、脳の働きを高めることも楽しく遊ぶことの大切な基盤になっています。

〈A君の育ちより〉

つむぎに3歳から通っている現在4歳の遺伝子疾患のA君は、通所し始めたばかりの頃、目が合いづらく、表情も乏しく教室内をグルグルと歩いていることが多かったです。また、絵本や障害物などの“物”にも興味がない様子でした。A君が安心して活動に参加できるように、つむぎ体操や膝の上での揺さぶり遊び等、大人が笑顔で向かい合ながらたくさん身体を動かして遊びました。通所し始めて1か月経った頃、揺さぶり遊びで大人と目を合わせて笑う場面が段々と増えてきました。また、巧技台の上までお気に入りのタオルを取りに行ったり、友達の楽しそうな様子を見たりしているうちに少しずつ障害物にも興味を示すようになってきました。

今ではハイハイリズム運動の動きで友達と一緒にトンネルをくぐったり、はしごまたぎや平均台に取り組んだりする様子が見られます。また、大人や友達の真似をしてゴミ箱にゴミを捨てたり、楽しそうに手遊びを真似したり、呼名されたときに「あー！」と声を出しながら挙手したりする姿も見られるようになりました。

笑顔で楽しく関わることで向かい合う力が育ち、周囲に対する興味関心の広がりや模倣力にも繋がってきました。動作やことばの真似が徐々に意識的な行動(意味づけ)へ変わっていき、認識力の向上へとステップアップしていきます。

お子さんとの日々のかかわりの中で困り感や相談したいことがありましたら、気軽につむぎ職員にお声がけくださいね ❤

参考文献:障害児の保育と発達の原則 ブレインサイエンスと生活リズムの視点から 著・相馬範子
障害児が変わる!脳・からだ・こころを目覚めさせる科学的発達支援 著・相馬範子

視線を合わせて笑顔であやす
見る・視線を合わせる
注視する力が育つ

親しい人への愛着
向かい合う力が育つ

たのしい
安心する
おもしろい
やりとりを楽しむ
脳の働きを活性化

みかん狩りイベント



今年はコミュニティセンターでお弁当を食べ、みんなでゲームを楽しんだ後、海沿いをお散歩してみかん園へ向かいました。ご参加いただいた10家族のみなさま、ありがとうございました！